

ワークシート1

地域との関わり

「地域社会の一員として・・・子どもは地域の宝！」

こんなことありませんか？

さちこさんは、友だちに誘われ、学校で募集のあったボランティア活動に、友だち数人で応募しました。内容は、地域の環境を大切にするという趣旨で、地域を流れる川の清掃活動をすることです。例年、日曜日の午前中の2時間を使い、自治会連合会や青少年育成市民会議、小中学校のPTAや子ども会、スポーツ少年団なども参加し、斜面の雑草を抜いたり、ゴミを拾ったりします。

さちこさんは、ボランティア活動の大切さは十分理解しているつもりですが、水にぬれたり、泥まみれになったりするため、この清掃活動が本当はあまり好きではありません。さちこさんは、お母さんに、「今日はちょっと体の調子が悪いから、『欠席する』と連絡してもらえないかな。」と頼みました。さちこさんに、「参加したくない。」という思いがあることに気がついたお母さんは、何と返事をしようか迷ってしまいました。

ワーク1

お子さんは、地域で行われる行事やボランティア活動等に積極的に参加していますか？

.....

.....

.....



ワーク2

お子さんが、地域の行事やボランティア活動に参加することの大切さについて交流しましょう。



◇他の方の意見をメモしましょう◇



いいね!



いいね!

今日気が付いたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？



今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



学校・家庭・地域が連携して、子育てに関わる必要があるだよ。昔から「地域の子は、地域で育てる。」ということが言われているのに、最近は「となりに住んでいる子の顔も名前も知らない」ということもあるそうだ。子どもが育った所が「ふるさと」だよ。子どもの頃から、地域を知り、地域のみなさんと共に活動することの「良さ」や「楽しさ」を体感してほしいね。地域（ふるさと）が好きになるよ。

地域全体による家庭教育の支援を！

○子どもの地域の活動への参加状況を見ると、小学生の参加割合が高い傾向にあります。

子どもの地域の活動への参加状況(末子年齢)

	よく参加している	ときどき参加している	ほとんど参加していない	まったく参加していない	わからない	(%)
TOTAL(n=3416)	5.5	24.1	21.6	41.1	7.7	
【未就学児】0～2歳 (n=572)	3.1	12.4	15.0	61.9	7.5	
【未就学児】3～6歳 (n=572)	4.2	24.3	21.3	42.5	7.7	
【小学生(低学年)】1～2年 (n=380)	12.9	34.7	20.5	25.8	6.1	
【小学生(中学年)】3～4年 (n=380)	8.9	31.8	25.5	27.1	6.6	
【小学生(高学年)】5～6年 (n=380)	9.5	38.7	20.3	25.5	6.1	
【中学生】(n=572)	3.5	22.4	26.2	40.6	7.3	
【高校生】(n=560)	1.3	15.4	22.9	49.5	11.1	

○地域行事・ボランティア活動によく参加している子どもは自己肯定感も高い傾向にあります。

子どもの自己肯定感(子どもの地域行事・ボランティア参加状況別)

	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	わからない
達成感・経験	TOTAL(n=2272)	27.4	50.5	15.4	5.8
よく参加している (n=146)	43.2	47.3	8.2	0.0	
ときどき参加している (n=614)	29.8	53.6	11.9	3.4	
ほとんど参加していない (n=530)	27.0	54.0	15.5	2.1	
まったく参加していない (n=807)	25.0	48.3	17.5	5.8	
ルールを守って行動する	TOTAL(n=2272)	25.6	58.5	11.6	2.8
よく参加している (n=146)	41.8	47.9	6.2	2.1	
ときどき参加している (n=614)	27.4	61.6	8.8	0.5	
ほとんど参加していない (n=530)	23.0	63.4	11.1	0.9	
まったく参加していない (n=807)	24.9	56.0	13.9	3.7	

地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

次の時代を担う子どもたちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、学校と地域が連携・協働します。



進めよう!地域学校協働活動～吉高地域キラメキ(YCK)プロジェクト

吉城高校は「地域に根付いた、地域に愛される、地域に貢献できる学校」を目指しています。YCK プロジェクトでは、【地域観光】【地域福祉】【地域教育】【地域防災】【リーダー】の5つの分野を柱に、地域行政とも連携した活動を実践しています。地域の方々とともに、課題解決能力を身に付け、地域の未来を担う志を持った、たくましい人材を育てています。

「未来のためにできること」



岐阜県立吉城高等学校 3年生(平成30年度)笹岡充花 さん

「YCK プロジェクト」のリーダー活動の一つである地域の伝統行事「三寺まいり」を舞台にした「三寺ミッション」では多くのことを得ることができました。地域の方々へのヒアリングから課題を発見し、アイデアを出して実践するのは本当に大変でした。うまくいかないことばかりでしたが、コーディネーターの方のサポートで、「お参りに行けない老人ホームのおじいちゃん・おばあちゃんに喜んでもらう会」や「本質を小学生に伝えるためのスタンプラリー」を企画し、やり遂げることができました。活動中に幅広い年齢層の方々と交流するなかで、地域をより良くしようという熱い思いや考えに触れました。私たちの活動が、そんな地域と高校生の懸け橋になれてうれしかったです。



ねらい

- 子どもたちが、地域の人と触れ合いながら、地域を知ったり、地域から学んだりすることが、どうして大切なのかについて、具体的な活動を挙げて交流しましょう。

時間	進め方	留意点
10分	<p>はじめのこたば</p> <p>「みなさん、こんにちは。本日は参加いただきありがとうございます。今日は、お子さんと『地域との関わり』について考えましょう。」</p>	<p>◇笑顔で親しみやすい言動を心がける。</p> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があると、やわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなる。</p>
40分	<p>アイスブレイク</p> <p>「最初にみなさんで簡単なゲームを楽しみましょう。では、やり方を説明します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「バースデーチェーン」を行う。 ◆並び終わったら、順に名前と誕生日を言う。 <p>3つの約束の確認</p> <p>「では、これから活動に入りますが、その中でみなさんに守ってほしい約束が3つあります。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆3つの約束を確認する。 <p>ワークショップ</p> <p>「まず、ワークシートをご覧ください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「こんなことはありませんか？」を読む。 <p><ワーク1></p> <p>「お子さんは、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加していますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・やるべきことが多くなかなか参加できない。 ・部活単位で参加しなければならない時や頼まれた時は参加している。 ・自分の好きな活動の時は参加している。 ・地域の行事には、ほとんど参加できていない。 <p><ワーク2></p> <p>「お子さんが、地域の行事やボランティア活動に参加する大切さについて交流しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と触れ合うことができる。 ・地域の伝統や良さ等を知ることができる。 ・地域貢献することにより、地域への「愛着」や「故郷意識」が育つ。 ・地域社会の一員としての自覚が育つ。 	<p>◇「7 アイスブレイク④」参照。</p>   <p>◇「3 3つの約束」参照。</p> <p>◇家庭内の話題も出るため、信頼関係が大切であることを理解してもらう。</p> <p>◇「5 進行役について(1)子育てサロン型」参照。</p> <p>◇ワークシートにメモする時間がなければ、そのまま交流に入ってもよい。</p> <p>◇参加者が話しやすくなるよう、進行役が最初に困っていることや悩んでいることを話すよい。</p> <p>◇時間配分を考え、全員に話す機会を与える。</p> <p>◇体験を基にして、具体的に大切さを話せるとよい。</p>
10分	<p>振り返り</p> <p>「今日の話し合いを聞いて、よいと思ったこと、やってみようと思ったことは何ですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワークシートに考えをメモし、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域との関わり」について、あまり考えたことがなかった。 ・まずは親自身も、地域と関わりをもつことが大切だと思った。 <p>「いろいろな意見の中には、今日から生かせそうなヒントがありました。これからも積極的にこうした機会を活用してください。」</p>	<p>◇代表で1~2人に話してもらう。</p> <p>◇進行役が参加者と同じ目線で「こんなヒントをもらった」という話ができるるとよい。</p> <p>◇資料1、2を紹介し、地域との関わりの大切さや、岐阜県の施策を知り、「地域社会」と「家庭教育」との関わりについて考える。</p>